

Peace

Through Service

奉仕を通じて平和を



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

国際ロータリー 第2660地区

2012-13 地区委員会 活動計画書

2012-13年度

合同地区委員会

2012年7月21日(土)

大阪YMCA会館

ガバナー 高島 凱夫

「育もう未来の力を ～飛躍～」

CONTENTS

合同地区委員会開催にあたって	1
ガバナー指名委員会	2
意義ある業績賞委員会	3
地区研修委員会	4
災害支援プロジェクト	5
クラブ奉仕部門	
クラブ奉仕・拡大増強委員会	6
広報委員会	7
職業奉仕部門	
職業奉仕委員会	8
社会奉仕部門	
社会奉仕委員会	9
危機管理委員会	10
新世代奉仕奉仕部門	
新世代合同委員長会議	11
青少年活動委員会	12
ローターアクト委員会	13
インターアクト委員会	15
青少年交換委員会	16
国際奉仕部門	
国際奉仕委員会	18
ロータリー財団部門	
ロータリー財団委員会	19
財団情報・増進・ポリオプラス委員会	20
財団奨学金・学友委員会	21
研究グループ交換委員会	22
財団人道的補助金委員会	24
財団FVP委員会	26
米山奨学部門	
米山奨学委員会	27
地区大会実行委員会	28
ロータリーの友	29
地区財務委員会	30
地区資金・特別会計・地区基金会計予算	32
2012-2013年度 国際ロータリー第2660地区 組織図	35

合同地区委員会開催にあたって

ガバナー 高島 凱夫

合同地区委員会を開催するにあたり、ご多忙にも関わらず委員をお引き受けいただいた各地区委員会委員諸氏に対し御礼を申し上げますとともに、1年間地区ロータリー活動にご協力賜りますことをお願い申し上げます。2012-2013年度に入り最初に行われる地区委員会の全体会合です。各地区委員会が立案した今年度の方針を他の委員会の皆様方にも共有していただき、地区活動が1年間スムーズに実施されることを願っています。

さて、2012-2013年度RI会長 田中 作次氏は、今年度のテーマに「奉仕を通じて平和を Peace Through Service」を掲げられました。PETS・地区チーム研修セミナー、地区協議会でも申し上げましたように「平和」は個人個人で捉え方が千差万別です。私は、以前より「健全な“心”と“からだ”を持った青少年の育成」が今後の日本の発展、世界平和のために必要である、と考えています。そこで、RI第2660地区の方針を「育もう未来の力を～飛躍～」とさせていただきます。そして、①会員増強・会員維持、②会員研修、③健全な青少年の育成、④平和な社会への貢献、この4つの言葉をKeywordにしたいと思います。

RIテーマ、ならびに地区方針は、既に説明申し上げていますので、各地区委員会におかれましては、それに基づいた事業計画やプロジェクトを計画して頂けたものと思います。それらの計画を実施することで、地区内各クラブがより活発な奉仕活動に結びつくものと確信いたします。

8人のガバナー補佐の皆様方は、クラブと地区とのパイプ役になるべく、日々研修を行って参りました。言葉は悪いのですが、各委員会は是非ガバナー補佐の皆様方をうまくお使いになり、地区の情報を各クラブに伝搬して頂きたいと思います。そして、ガバナー補佐の皆様方には、各クラブの情報を地区にフィードバックして頂きたいと願っています。

本日も参集いただきました皆様は、今年度の第2660地区の発展、加えて30年ぶりの日本人である田中作次RI会長をサポートするための重要な役割を担っていらっしゃると思います。各委員長には、資料の事業計画だけを読み上げるのではなく、ご自分がお持ちの委員会への思い、ロータリーへの思いを述べていただくようお願いしています。趣旨をご理解の上、この合同会議が有意義になるよう、よろしくお願い申し上げます。お集まりの皆様が、ロータリー活動の未来に向けて、ご自身の責務を充分お考えいただき、この1年間ご活躍頂きますことを心からお願い申し上げます。

ガバナー指名委員会

委員長 岡部 泰鑑（大阪城南RC）
委員 新谷 秀一（池田くれはRC）
横山 守雄（大阪中央RC）
大谷 透（大阪西南RC）
松本 新太郎（八尾RC）

活動方針：

当委員会は、ガバナー・ノミネー選出に関するRIの細則に基づき、2015-2016年度の当地区ガバナー候補者を選出すべく活動いたします。

意義ある業績賞委員会

委員長 岡部 泰鑑（大阪城南RC）
委員 大谷 透（大阪西南RC）
松本 新太郎（八尾RC）

活動方針：

RI章典によりますと、「意義ある業績賞」は重要な問題、またはニーズに取り組むクラブの活動を表彰するプログラムであると定められております。その目的は全てのクラブに新プロジェクトを奨励し、かつクラブが模範的な活動を行うことの重要性について理解を深めることであり、下記の事項を満たすものでなければなりませんと記されております。

- ・地域社会の顕著な問題やニーズに取り組むもの。
- ・殆どの、又は全てのクラブ会員が、単に財政面の奉仕ではなく、身をもって奉仕活動に参加し、クラブの規模と資源に比例するものであること。
- ・地域社会において、ロータリーのイメージを強化するものであること。
- ・他のロータリークラブも実施出来るようなものであること。
- ・表彰年度に進行中、或いは完了されたものであること。
- ・単一のロータリークラブによって実施されたものであること。

当委員会は、以上の条件に基づき、受賞資格クラブを検討し、地区ガバナーに受賞候補クラブを推薦いたします。

当地区の本年度の「意義ある業績賞」の提出締切日は、2013年1月31日(木)とします。

地区研修委員会

リーダー	井上 暎夫 (千里RC)
サブリーダー	若林 紀男 (大阪東RC)
	岩田 宙造 (大阪南RC)
	大谷 透 (大阪西南RC)
委員	岩津 陽介 (大阪御堂筋RC)
	鈴木 洋 (八尾東RC)
	泉 博朗 (大阪帝塚山RC)
	岡田 耕治 (東大阪東RC)
	五味 千秋 (大阪心斎橋RC)
	磯田 郁子 (大阪東淀ちゃやまちRC)
	木村 芳樹 (大阪南RC)

活動方針：

日本の、そして地区の最大の課題は、会員数の減少です。

例えば、松本年度271名の新入会員を迎えましたが、363名の会員を失いました。その全てが肉体的、経済的でやむを得ないものだったのでしょうか。

ロータリーの真の良さ、楽しさを実感できないうちに退会となるシーンはなかったのかを反省しなければなりません。

各々のクラブで、ロータリーの楽しさ、会員でいることの誇りを教えて頂くために、どのような支援をするのかを、地区研修委員会の最大任務と自覚し、高島ガバナーの方針『育もう未来の力を～飛躍～』の実践を活動方針とします。

活動計画：

- ①RIの戦略計画にあるクラブのサポートと強化のために、クラブでの研修は欠かせません。そのためにクラブでの研修は如何にあるべきか、誰がその任に当たるのがいいのか、など基本的な認識を共有するための協議を通じて、クラブのサポートを如何にするのが良いのかを、審議します。その上で、具体的なセミナーの実施、講師の派遣などを行います。
- ②クラブ単位で実施できない新入会員セミナーの実施を計画。地区大会でのプログラムが組まれれば、ホストクラブと協議の上、行います。
- ③地区研修委員会設置当初の活動に含まれていた地区協議会、PETS、地区チーム研修セミナー、ガバナー補佐研修などをGEと協議の上、担当します。
- ④研修冊子『ロータリーの心と実践』改訂版の作成。

災害支援プロジェクト

委員長 岡部 泰鑑（大阪城南RC）
副委員長 福家 宏（八尾中央RC）
 宮里 唯子（茨木西RC）
委員 溝畑 正信（東大阪東RC）
 五味 千秋（大阪心斎橋RC）
 古澤 照明（豊中RC）
 川上 大雄（大阪エバーグリーンRC）
 丹羽 健二（大阪西南RC）
 小林 和由（大阪咲洲RC）

活動方針：

災害支援プロジェクトの業務

- ・東日本震災復興支援のための寄付金の募集および運用
- ・現地ニーズ掌握と各クラブ支援
- ・地区、各クラブの活動状況の掌握とサポート
- ・各クラブメンバーへの情報発信と報告（ガバナー月信およびメール配信）
- ・その他、国内外における災害に対する支援の呼びかけ

クラブ奉仕・拡大増強委員会

委員長 東村 高良（大阪うつぼRC）
 副委員長 吉村 昭（大阪平野RC）
 松尾 浩一（大阪南RC）
 委員 齊城 正之（豊中-大阪国際空港RC）
 榎本 桂子（寝屋川RC）
 泉 寛治（八尾中央RC）
 中平 公士（大阪東RC）
 福田 忠博（大阪中之島RC）
 北村 佳久（大阪東南RC）

活動方針：

高島ガバナーの「プロジェクト3900」のスローガンのもと、会員増強拡大と会員維持のための支援を、強力に推進してまいります。

活動計画：

当地区では、15年連続で会員減少傾向にあり、ストップがかかりません。会員増強、会員維持は、長年の課題となっております。

そこで、より効果的でより実践的な方策を見出し、実施して行くために本委員会は、最大限のお手伝いをする所存であります。

先ず、2012年6月2日(土)に「2660地区クラブ奉仕会員増強セミナー」を大阪科学技術センターで開催いたしました。

本セミナーの必須事項であるゲスト講演としては、今回特別に、RI理事の近藤雅臣氏に講演いただき、ガバナー、ガバナーエレクト他、地区役員、各クラブ次年度会長、次年度増強委員長の皆様にお集まり頂き、「会員増強」全般と、今年度は「退会防止」との2面作戦にわたり話し合いました。各クラブより提案や、問題点等ディスカッションも致しました。

また、各クラブにおかれましては、一年を通じて会員増強に関する卓話、フォーラム、協議会を開催することはもとより、毎月の理事役員会で会員増強維持の議題を掲げ継続審議して行って、検討と対策を講じ、実のある成果を達成していただきたいと存じます。

私ども本委員会は、高島ガバナーの「プロジェクト3900」のスローガンのもと、奉仕の理想に集いし友を、1人でも多く集めた質の高いクラブ作りを第一として、会員増強と会員維持のための支援を、強力に推進してまいります。

【プロジェクト3900】

(会員拡大増強のための) 手作りの勝利の方程式を完成させましょう(DIY)!

◎勝利の方程式 = [1. 会員増強の最大化] - [2. 退会者の最小化] + [3. 「例会」の充実]

広報委員会

委員長 林 邦彦（大阪西RC）
副委員長 西口 宗宏（大阪アーバンRC）
委員 中島 武（大阪堂島RC）
片山 一步（大阪帝塚山RC）
平野 誠治（大阪西北RC）
永井 正美（大阪城南RC）
松任 保勇（大阪中之島RC）
岡村 剛行（大阪東RC）
梅原 一樹（大阪中之島RC）

活動方針：

「育もう未来の力を～飛躍～」という地区方針に基づき、各クラブの広報活動がより活発になるようサポートに努めて参ります。そして、ロータリーの世界の素晴らしさを、外部の皆様知って頂くための啓蒙活動にも努め、地区の強調事項である「公共イメージと認知度の向上」を図ります。

活動計画：

1. 各クラブの奉仕活動の紹介
各クラブ独自のユニークな奉仕活動の中から、対外広報すべき項目について、ロータリー活動の素晴らしさをアピールできる奉仕を紹介してまいります。①Rotary At Workや、②YouTube等を通じての紹介。
2. クラブ広報委員長会議
年2回実施予定。各クラブの広報体制についての検討。意見募集。
(第1回：2012年7月7日, 第2回：2013年1月19日を予定)
3. ホームページ更新の助言等
各クラブで運営中のホームページについて、各クラブの運用状況をお聞きして、必要に応じて委員会で検討し、より簡易に頻回に情報掲載ができるよう助言したいと思います。
4. JR大阪駅での広告による広報
JR大阪駅の東口・西口におけるデジタルサイネージによる電子広告を、会員増強月間(2012年8月)を中心に行い、ロータリークラブの公共イメージのアップ、認知度の向上に努めます。
5. マスメディアを通じた広報
各クラブから寄せられた奉仕活動の中から、テレビ・ラジオ・新聞等を通じて、対外的にアピールします。
 - ①「産経関西」を利用した広報活動(WEB+新聞)
産経新聞社(関西)のHPに当地区専用の広報HPを設けていることから、各クラブから提供された奉仕活動等の情報を、産経新聞社のHPや新聞に掲載します。
 - ②ラジオ大阪でのラジオ番組による広報
ラジオ大阪で、第2660地区のラジオ番組を、2013年3月頃から、10回程度にわたり放送して、第2660地区の活動や各クラブの活動を、対外的にアピールします。
6. RI広報補助金申請
上記のJR大阪駅での広告を中心とした広報活動に対する補助金を申請しており、かかる補助金を得て、ロータリーの啓蒙活動のためのJR大阪駅での広告、ラジオ番組、HPの掲載等の広報を行います。

職業奉仕委員会

委員長 木越 正司（大 阪 西RC）
 副委員長 庄野 晋吉（大 阪RC）
 岡本 雄介（大阪大手前RC）
 委員 長崎 弘芳（大東中央RC）
 北川 忠嗣（東大阪東RC）
 松室 利幸（池田くれはRC）
 堀田 修平（枚 方RC）
 黒松 克行（大阪城東RC）
 國田 欣吾（く ず はRC）
 中村 進一（高 槻RC）

活動方針：

各クラブ職業奉仕委員長は、ロータリアンそれぞれが職業に対する倫理観をもって職業活動を行うための研修を行い、研修や勉強会に有効なプログラムを用意する事が大切であると考えます。その為の一助となるよう地区委員会活動を行います。職業奉仕はロータリー精神の基本となることを、クラブ職業奉仕委員長に再認識していただき、より具体的な考えを身につけ、より実践的な奉仕活動を行うことを活動方針とします。ロータリアンは皆何らかの職業にかかわって職業の中で日々ロータリー活動を行っています。職業を通じた経済活動の中でロータリー活動が成り立っているといっても過言ではありません。ロータリークラブ設立の原点である、相互扶助の精神の下、最も信頼すべきビジネスパートナーはロータリアンであるはずなのに、個人情報保護法によりロータリアンがお互いの職業情報すら知ることができにくい状況となっています。地区内のロータリアンが職業情報を共有できるようにする方法の検討と準備を地区委員会活動のひとつとして行いたいと思います。

活動計画：

1. アンケートの実施
2005-2006年度より実施している各クラブの事業計画についてのアンケートを今年度も実施し結果を分析の上、参考資料として報告します。
2. 出前授業の推進と職場体験学習の実施準備
10年来行ってきた「出前授業」をさらに推進しますが、実施した授業の効果を検証したいと思います。また、今年度も児童生徒の職場体験学習の実施を行うよう各クラブに促すものとし、出前授業と職場体験学習を連携させて行うことも今年度に試行したいとおもいます。
3. クラブ職業奉仕委員長を中心とする卓話とフォーラムの実施
10月の職業奉仕月間に各クラブの職業奉仕委員長自ら卓話を行っていただくようお願いし、卓話と連動したフォーラムを実施していただきます。
4. 地区内ロータリアンの職業に関する情報共有の為のデータベース作りの検討と準備を昨年と同様に行います。
5. 年2回のクラブ職業奉仕委員長会議の実施
6. 年間5～6回必要に応じ地区職業奉仕委員会の実施

社会奉仕委員会

委員長	初木 賢司 (くずはRC)
副委員長	脇 隆俊 (大阪御堂筋RC)
委員	川上 大雄 (大阪ユニバーサルシティRC)
	高田 知彦 (大阪リバーサイドRC)
	御前 治 (千里RC)
	滝川 博嗣 (門真RC)
	佐藤 剛司 (摂津RC)
	寺内 清視 (大阪天満橋RC)
	中嶋 英貴 (大阪鶴見RC)
	竹田 伸 (大阪難波RC)

活動方針:

本年度RI会長のテーマは「奉仕を通じて平和を」です。

社会奉仕はロータリアンとして「超我の奉仕」を自らが、心の平和や心の平穏を体感することができる絶好のチャンスです。昨年は、東日本大震災等による復旧支援に各クラブとも力を注がれたと思いますが、今後復興に向かって被災地に何が必要なのかを見極め、長期に亘る支援の在り方を検討していきます。

一方、各クラブが奉仕活動の主体である地元地域に対して、根の張った活力ある奉仕活動を実現できるように、より一層連結を密に活動して参ります。

各クラブにおける奉仕活動が、より充実したものになるように活動内容を再確認し、行動力があり、会員が魅力を感じるものにしていきたいと思えます。

また、単独クラブでの企画よりも、近隣クラブとの合同企画の方が効果的な場合など地区委員会として、その情報を他のクラブに情報発信したいと思えます。

社会奉仕活動をより効果的に進めるため、また地区委員会運営を充実するためにも、各クラブのご理解とご協力をお願い致します。

活動計画:

■地区からの情報収集と研修及び各クラブ間での情報交換

- ・年2回を目標に、クラブ社会奉仕委員長会議の開催
- ・地区ロータリー財団部門の協力によるFVP等補助金研修

■大阪府及び日本赤十字との連携による諸活動の推進

- ・献血活動への協力 (日本赤十字血液センター)
- ・薬物乱用防止活動への協力 (大阪府健康福祉部)
- ・春・秋の全国交通安全運動への参加 (大阪府交通安全対策協議会)
- ・環境保全 (大阪府豊かな環境づくり大阪府民会議)

■震災復興支援

- ・「東北でメイクアップをしよう」キャンペーンの継続
- ・地区災害支援プロジェクト委員会への協力

■緊急災害発生時等に対する義援金依頼

危機管理委員会

委員長 大谷 透(大阪西南RC)
副委員長 福家 宏(八尾中央RC)
委員 植田 昌克(大阪北RC)
池田 佳弘(大阪梅田RC)
中野 秀一(大東RC)
角谷 真枝(茨木西RC)
北 登(東大阪東RC)
田中 義久(大阪西RC)
田中 真人(大阪北RC)
林 邦彦(大阪西RC)
小林 正啓(大阪城南RC)
菅沼 清高

当委員会の目的は新世代奉仕部門活動の安全を考えるためであるから、新世代奉仕部門委員長会議のメンバーが主な構成委員となり、同会議の議長が委員長を務め、副委員長にガバナー・エレクトの 福家 宏(八尾中央RC)、追加の委員として専門的な面で協力が期待できる 林 邦彦(大阪西RC)、小林正啓(大阪城南RC)、更に部外からの構成委員も示唆されているので、昨年に続き元警察庁官房長の 菅沼 清高 氏にも加わってもらい、計12名が委員会の構成メンバーとなり、不測の事態に対処する態勢を整えている。

新世代合同委員長会議

議長 大谷 透（大阪西南RC）
委員 植田 昌克（大阪北RC）
池田 佳弘（大阪梅田RC）
中野 秀一（大東RC）
角谷 真枝（茨木西RC）
北埜 登（東大阪東RC）
田中 義久（大阪西RC）
田中 真人（大阪北RC）

活動方針：新世代奉仕の各部門がより効果的な発展を遂げるための 相互連絡（Cross promotion）と安全な環境づくり。

従来の四大奉仕部門（クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕）に新世代奉仕部門が加えられ、ロータリーが五大奉仕部門を持つことになってから3年目となる。

ロータリーが設けている青少年育成のためのプログラムはそれぞれ素晴らしい成果をあげているが、これは安全な環境に於いてなされてこそ云えることであり、ひとたび事故が発生すればすべては無に帰してしまふ。従って、新世代合同委員長会議の第一の目的は、青少年のための全てのプログラムが安全な環境のもとに行うことが出来るよう配慮することであり、そのために新世代に関わる各委員会の委員長が互いのリスク・マネジメントを学び合うことである。この会議の第二の目的は、安全対策という自己防御的な目的に加えて、それぞれの成果をより持続的な成果へと発展させるために、互いに学び合い、協力し合うことによって、より有意義でより効果的な奉仕活動へと cross promotion の機能を達成することである。

第一の目的のためには、当会議のメンバーを主体として「危機管理委員会」が設置され、万一に備えて2012-2013年度は¥10,000,000の予算が計上されている。

活動計画：

年度開始早々の7月と、年度の終わりが近くなった5～6月に2回会議を開催し、相互の連携を図る。

青少年活動委員会

委員長	植田 昌克 (大阪北RC)
副委員長	井上 善博 (東大阪みどりRC)
	岡村 雄二 (大阪大淀RC)
	西本 健二 (吹田江坂RC)
委員	新庄 幸一 (枚方RC)
	角本 浩一 (大阪城北RC)
	松本 晴充 (大阪中央RC)
	松井 研次 (大阪東南RC)
	庄司 修二 (箕面RC)
	古山 柄博 (千里メイプルRC)
	池田 文治 (大東中央RC)
	石川 益三 (大阪難波RC)
	石田 夏彦 (豊中千里RC)

活動方針：

次世代を担う児童、青少年が、野外研修や共同生活を通して協調、友愛、団結の大切さを体験学習し、リーダーとしての資質を高めるプログラムを実施します。

夏に実施するニコニコキャンプでは、小学4年から6年の児童が自然と触れ合い、新しい仲間と交流し、チームワークの大切さを体験学習します。このキャンプは、ローターアクターのリーダーシップ研修の場ともなります。

春と秋に実施するRYLAでは、次世代を担う青少年が自発的に意見を述べ、仲間の考えに真摯に耳を傾け、グループが設定した目標へ向かって協調できるリーダーの育成を目指します。今年度より秋のRYLAが上級のみとなり規模が縮小されますが、当地区で始まったRYLAの歴史と伝統を引き継ぎつつ時代に則したものとなるように、チームライラと連携して内容充実をはかります。

新世代奉仕部門の他の委員会との連絡を密にして、それぞれの活動がより効果的に行われるように委員会間の交流を深めます。

ローターアクト委員会

- 委員長 池田 佳弘（大阪梅田RC）
副委員長 永田 大介（池田RC）
 清水 雄一郎（大阪北RC）
委員 油井 滋（大阪西南RC）
 大水 勇（大阪帝塚山RC）
 中川 順子（大阪ネクストRC）
 山本 和良（大阪南RC）
 前田 要之助（大阪東淀ちゃやまちRC）
 久保 義誓（茨木RC）
 松尾 治（東大阪西RC）
 粟村 卓家（大阪西RC）
 丸尾 照二（大阪御堂筋RC）
 柳田 雅範（東大阪RC）

活動方針：

ローターアクトとは…という原点に戻り、もう一度ローターアクターとしての奉仕と、社会問題への関心、そして奉仕を通じての真の交流について考えていきたいと思えます。

今年度の、地区ローターアクトのターゲットは「Stay hungry, stay foolish」というスティーブ・ジョブズの言葉をそのまま引用して、「若さ」という財産を最大限に発揮し、さまざまな問題に対応していけるよう、今までのアクトの基盤の上にさらに新たな原点を築き、未来へ向けて大きく一歩を踏み出せるような活動をしていくという思いを持っています。

われわれローターアクト委員会は、そのサポートをより強く深く支えていく年度としたいと思います。

また、その思いを広げるため、さらなるローターアクターの拡充を図るため、従来より進めてきた、ローターアクター拡充のための「ローターアクト・サポートシステム」を、各クラブに理解して頂き、地区全体に浸透させていきたいと思えます。

さらに前年度より連携を深めた新世代奉仕部門の各委員会とさらに密接な関係を持ち、未来のローターアクターの発掘と、ライラ、インターアクト、ROTEXの活動への協力もしていく基礎づくりをしたいと思えます。

活動計画：

- 7月15日(日) 第1回地区献血及び第1回地区連絡協議会
- 9月1日(土) 正副委員長会議
- 9月9日(日) 全国統一アクトの日
- 1月11～14日 海外研修(RID3330地区・タイ)
- 2月17日(日) 第2回地区献血及び第2回地区連絡協議会
- 3月10日(日) 世界RAC DAY
- 4月14日(日) 新旧理事役員研修会
- 5月26日(日) 地区年次大会
- 6月16日(日) リーダーシップフォーラム・新人研修会

その他、4060交流会、四地区情報交換交流会、全国ローターアクト研修会への参加を通じて、他地区との交流を図り、より良い奉仕のネットワークを築いていきます。

さらに、昨年度から始まった東北支援プロジェクトも、今年度も継続し、被災地に対する支援を続けていきます。

また、今、直面する2つの問題に対応するため作業部会を、ロータリアン、ローターアクターの共同で発足し、その解決策を検討します。

一つは「ゾーン統合部会」

地区内にはロータリーのIMに当たる「ゾーン」が3つありますが、ゾーン毎のクラブ数にバラツキが出てきたこと、ゾーンに分ける必要が本当にあるのか?という疑問から、改めて「ゾーン」を考え、統合すべきかどうかを検討します。

もう一つは「地区行事検討部会」

活動計画にあるように、地区の行事がかなりあります。その一つ一つが本当に必要で、ローターアクトにとって有用なものなのかを検討します。

インターアクト委員会

委員長	中野 秀一	(大 東RC)
副委員長	衣斐 茂樹	(大 阪RC)
委員	奥田 吾朗	(大 阪RC)
	辻本 友明	(大阪帝塚山RC)
	米谷 龍二	(大 阪 南RC)
	松井 隆雄	(大阪天王寺RC)
	稲田 賢二	(八 尾RC)
	東村 正剛	(大 東RC)
	服部 潤承	(池田くれはRC)

活動方針：

次世代を担う青少年達が行う地域社会の奉仕と国際理解を深める活動に対し、自立性溢れる生き生きとした活動環境をサポートし、指導力の更なる養成を目指します。

- ①各事業の企画立案と実施に、各校生徒達の自発的な参加を促します
これまでロータリアンと各校顧問とで行っていた合同会議に、インターアクターの参加を促すことで、事業の企画立案段階からの取り組みと、事業遂行に対する責任感や各校横の連携がより強くなる事を望みます。
- ②横世代間の交流に止まらない、縦世代間との交流の強化と推進をします
インターアクターの合同会議への参加、ローターアクターその他の新世代各構成メンバーとの交流により、世代間交流から生まれる縦社会の絆を深めていきたい。
- ③各校と提唱RCとの交流の強化・推進と新クラブ創立発展に努めます
各校インターアクトの実施する事業や例会に各提唱RC委員が積極的に参加し、ロータリアンの意識の高さやRCの魅力伝えて頂く事により、未来のロータリアンになるよう指導頂きたい。又、新クラブ創立に関しては池田くれはRCに提唱校を模索いただく。

活動計画：

- 海外研修：海外インターアクターとの交流を図る中で国際理解と親善を深め、国際的視野を持つリーダーの育成に寄与します。今年は8月6日～3泊4日で台湾3510地区を訪問予定。現地のインターアクターと共に、奉仕活動として施設の訪問や交流会を予定している。
ホスト：四天王寺高等学校・中学校(提唱クラブ:大阪天王寺RC)
- クラブ合同会議：地区委員及び各校顧問並びにインターアクター代表と共に、活動方針の確認や活動計画、概況状況の報告を行い、情報交換を行います。
- 年次大会：地区及び各校インターアクトクラブの活動報告を行い、奉仕の精神と活動意義の再確認を行います。
ホスト：浪速中学校・高等学校(提唱クラブ:大阪帝塚山RC)
- SCRUM発行：1年間の活動をまとめた活動誌「SCRUM」を編集・発行します。
担当：大阪桐蔭中学校・高等学校(提唱クラブ:大東RC)
- 新入生歓迎会：各校のIAC、提唱RCのメンバーが集い、新入生と共に親睦交流を深め、奉仕の精神と活動への動機付けを行います。
担当：浪速中学校・高等学校(提唱クラブ:大阪帝塚山RC)

青少年交換委員会

委員長 角谷 真枝（茨 木 西RC）
副委員長 辻村 和弘（大阪大手前RC）
委員 山本 喬一（大阪天満橋RC）
磯田 郁子（大阪東淀ぢやまちRC）
森 昌範（交 野RC）
河畑 誠治（東 大 阪RC）
松岡 一郎（大 阪RC）
金本 恒二郎（大阪天王寺RC）
中田 有紀（茨 木 東RC）
稲 邑 清也（千 里RC）

活動方針：

青少年交換プログラムは、15～19才の学生が親元を離れ、外国でホストファミリーと一緒に暮らし、異なった生活様式を体験することによって、お互いがもつ違いによって生じる問題を解決することを学びます。学生達にとっては厳しい環境になりますが、好意に溢れたロータリアンの庇護のもとで、彼等は切磋琢磨し、平和を築く国際人になるべく素晴らしい成長をしていきます。彼等がプログラムを終了し、無事帰国するまで、彼等の安全確保と明るい生活環境を提供できるよう今迄と同様、研修会の開催と危機管理に配慮してまいります。又このプログラムは学生のみならず、参加した総ての人々が、ロータリーの目標である世界平和と繁栄に貢献できる国際人として成長できる機会を与えてくれます。このことをできるだけ多くのクラブに広報し、近年減少しているホストファミリーの拡大に力をいれていきたいと考えております。

活動計画:

1. 青少年交換計画

長期派遣(1年間): 6名 短期派遣(夏休み): 2名
長期受入(1年間): 7名 短期受入(夏休み): 2名
交換相手国: アメリカ(3名) フィンランド(1名) フランス(1名) カナダ(1名)
受入相手国: オーストリア(1名)

2. 研修会の実施

派遣候補生: 派遣に向けての不安を取り除く為の準備研修と、ロータリーが青少年交換プログラムに期待する目的について、理解を深める為のオリエンテーションをおこなう(約9回)

来日学生: 早く日本での生活に慣れるよう3地区(2660・2640・2680)合同で、各種日本文化体験研修をおこないます。又今期は世界平和フォーラムとして、5月17・18日に広島デーが予定されていますので、広島研修旅行として参加いたします。

3. 危機管理

プログラム実施期間中には、医療、傷害保険の加入だけでなく、学生の安全な生活環境確保の為、危機管理に関する配慮を徹底していきます。

4. ホストファミリーの確保

長期、短期に関わらずプログラム実施の為には、受け入れ学生の生活の場として、ホストファミリーが必要不可欠です。しかしながらロータリアンの減少や高年齢化によって、年々ホストファミリーが減少してきています。そこで委員会では4年前からホストファミリーバンクをつくり登録者を募ってまいりました。本年度も区内全クラブにホストファミリーバンクの登録をお願いしてまいります。

5. 新世代奉仕部門に関連するROTEX活動への支援

プログラムを終了し帰国した学生は、ROTEX (ROTary EXchange)へ入会します。そして彼等の経験を生かし、来日学生の相談や助言をおこなったり、派遣学生の不安を取り除くアドバイスをして、学生達のメンタルケアに大きな成果をあげています。又来日学生の歓送迎会やクリスマス会等、様々な研修会の開催におきましては、メンバー全員がリーダーシップを発揮し、企画、実行してくれています。こうした彼等の活動が、ロータリーが希求する世界平和の礎となる次世代国際人の育成に繋がっていると考え、委員会ではROTEX活動への支援・助言をおこなっていきたいと考えております。

国際奉仕委員会

委員長 小林 哲（吹田西RC）
 副委員長 栗原 大（大阪フレンドRC）
 委員 古澤 照明（豊中RC）
 糸川 千恵子（大東中央RC）
 辻 正次（豊中RC）
 大竹 洋一郎（門真RC）
 白方 誠彌（大阪淀川RC）
 木田 昌宏（吹田西RC）
 岩上 高幸（茨木西RC）
 安井 一男（新大阪RC）

活動方針：

本年度は旧来の補助金制度の最終年度であり、次年度から始まるFVPの計画・申請年度でもあるので、年末までは従来のWCSを推進するためのマッチング・グラントの計画・申請を、来年1月からはFVPに基づくグローバル・グラントを計画・申請することになっているが、ロータリー財団委員会、財団法人道的補助金委員会とも打合せの上、各クラブに「MG早期申請のお願い」を5月中に送付致しました。

またこの機会に、もう一度各クラブの国際奉仕のあり方、特に姉妹クラブや友好クラブとの関係が有効に機能しているかを問いかけ、国際奉仕活動の原点を再確認したいと考えます。

国際親善、親睦、奉仕の輪を広げる為にポルトガルのリスボンで行われる世界大会への参加を呼び掛けます。

活動計画：

- ・クラブ委員長会議 年2回
- ・財団法人道的補助金委員会との合同委員会 年2回
- ・各クラブの国際奉仕活動計画把握の為、アンケート実施
- ・姉妹クラブ・友好クラブ締結状況の調査実施
- ・地区からの情報伝達のニュース・レター発信
- ・地区委員会開催 原則毎月
- ・国際大会参加推進

ロータリー財団委員会

委員長 溝畑 正信（東大阪東RC）
委員 今西 敦之（八尾RC）
田中 義久（大阪西RC）
北埜 登（東大阪東RC）
吉川 仁育（大阪なにわRC）
宮里 唯子（茨木西RC）

活動方針：

2012-2013年度地区ロータリー財団委員会は ①財団情報・増進・ポリオプラス委員会 ②研究グループ交換委員会 ③財団奨学金・学友委員会 ④財団人道的補助金委員会 ⑤財団FVP委員会の5委員会により構成されています。

本年度は、ノン・パイロット地区である当RI第2660地区では、従来の財団プログラムを実行する最後の年であり、同時に2013年度から全世界で実施される新しい補助金システム、未来の夢計画(Future Vision Plan)の計画年度に当たります。

当委員会は5委員会相互の連携を密にし、新しいロータリー財団情報を共有して地区内各クラブ/ロータリアンにそれを伝達し、財団の各種プログラムが地区内各クラブの活動に十分活用されるように支援します。新しい財団情報は、2012年7月および11月に開催されるロータリー財団地域セミナー、2013年1月の国際協議会に付随して行われる新補助金制度研修会に出席し、また財団本部からの情報を得て、2013-14年度へのスムーズな移行を図ります。

また、地区ロータリー財団委員会の新たな編成を図ります。

活動計画：

ウィルフリッドJ.ウィルキンソン2012-2013年度ロータリー財団管理委員長は財団目標を、「1. ポリオを撲滅する(End Polio Now)。2.未来の夢計画の準備を整える。3.財団の教育プログラムと人道的プログラムへの参加を通じて、世界に平和を育む。4.ロータリー財団への寄付を全ロータリアンにお願いする。5.財団の資金をしっかりと守る。」としており、この目標の達成を目指します。

本年度当委員会は、

- 1.従来の教育的プログラムの奨学金、研究グループ交換(GSE)、人道的プログラムのマッチング・グラント(MG)、地区補助金(DSG)を終了させる。
- 2.新編成された財団委員会のもと、(新)地区補助金とグローバル補助金の各財団プログラムへの配分を決める。
- 3.ポリオ・プラス、ポリオ2億ドルのチャレンジ目標は達成されましたが、世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)は現在、活動を続けていく上での資金不足に直面しており、引き続きの寄付協力をお願いする。
- 4.教育的プログラムのロータリー平和フェロシップ、グローバル補助金奨学金、新地区補助金奨学金、新地区補助金プロジェクト、職業研修チーム(グローバル補助金プロジェクト)、人道的プログラムのグローバル補助金プロジェクト、新地区補助金プロジェクト、ポリオ・プラスプログラムの計画を策定する。
- 5.何にもまして補助金の資金源はロータリアンの寄付金であり、寄付増進の努力をする。
- 6.地区の参加資格認定を取得し、クラブの参加資格認定を取得して、地区ならびにクラブが補助金の資金管理、報告に関する体制を整えるための手続きを実施します。
- 7.財団FVPセミナー、補助金管理セミナーを通じてのクラブ/ロータリアンの研修会を実施する。

財団情報・増進・ポリオプラス委員会

委員長 今西 敦之（八尾RC）
 副委員長 鈴木 肇（大阪船場RC）
 委員 杉村 雅之（大阪中之島RC）
 吉岡 康雄（大阪西北RC）
 木村 芳樹（大阪南RC）
 領木 誠一（大阪東RC）

活動方針：

ロータリー財団が間もなく1世紀を迎えようとしている中、RI・財団がポリオ撲滅を優先事項として取り組んでおります。本年、1月17日に2億ドルチャレンジが達成しましたが、今日撲滅には至っておりません。引き続き、全世界からの撲滅を目指し、より一層の各クラブに、ポリオプラスのご理解とご寄付の推進を行ってまいります。次に、奉仕活動の原資でもあります、年次寄付と恒久基金（各クラブからベネファクター最低1名）の理解と「毎年あなたも100ドルを」を通じて、各クラブに奨励してまいります。また、2013-2014年度から新補助金制度導入にともない、FVP（未来の夢計画）の情報発信に努め、さらに、「ロータリーカード」で東日本復興を側面から支援が出来るなど、ロータリーカードの普及にも推進して参ります。

各クラブへの寄付金のさらなるご理解と、より多くのご寄付に切磋琢磨していく所存です。

本年度、地区財団情報・増進・ポリオプラス委員長を仰せつかり、「育もう未来の力を～飛躍～」第2660地区強調事項に取り組み責務を全うしていく所存です。会員先輩諸兄皆様のご指導・ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

活動計画：

- ・ポリオプラスの情報発信と各クラブへの寄付金の推進（1人当たり40ドル以上）
- ・年次寄付・恒久基金の各クラブへの理解と寄付金の推進（年次寄付：1人当たり150ドル以上）
- ・FVP移行における情報発信
- ・ロータリーカードの普及と推進
（2012年12月31日まで、日本のRCカードのロイヤリティ0.3%東日本震災復興に使用）
- ・円滑な委員会運営
- ・会員増強の協力

財団奨学金・学友委員会

委員長 北 埜 登 (東大阪東RC)
副委員長 三好 えり子 (大阪そねざきRC)
 阪上 博史 (茨木東RC)
委員 簡 仁一 (茨木RC)
 牧尾 晴喜 (大阪ネクストRC)
 水谷 治人 (守口RC)
 小森 敏鑑 (大阪南西RC)
 寺崎 正也 (大阪城北RC)
 吉城 直孝 (東大阪RC)
 木下 恵美子 (大阪イブニングRC)

活動方針:

財団奨学金は、ロータリー財団の最も古く知られているプログラムで、始まりは、1947年にまでさかのぼります。将来性のある学生が明日のリーダーとなり、各自の地域社会、のみならず世界に貢献します。

ロータリー財団国際親善奨学金は2013-2014年度より、地区補助金による奨学金(ロータリー第2660地区奨学生)とグローバル補助金による奨学金(ロータリー奨学生)の2つに分かれます。

新奨学金制度による奨学生の募集要項、選考基準を確立、ロータリー平和フェローと共に幅広く募集を行います。

活動計画:

- ①2013-2014年度奨学生の募集要項、選考基準を確立し、優秀な学生を各教育機関に派遣する。
- ②ロータリー平和フェローシップへの募集活動を積極的に幅広く行う。
- ③財団奨学金・学友委員会とPSC(国際親善奨学生として派遣、帰国された奨学生の組織)が、交流を深め委員会とPSCの活性化を行う。

研究グループ交換委員会

委員長	田中 義久 (大阪西RC)
副委員長	田邊 司郎 (寝屋川RC)
	米田 真 (豊中RC)
委員	松本 浩一 (大阪北RC)
	今西 良介 (大阪南RC)
	川本 典美 (大阪ネクストRC)
	品川 芳洋 (八尾東RC)
	栗山 博道 (大阪中之島RC)
	三木 元昭 (大阪大手前RC)
	水島 洋 (千里メイプルRC)
	長元 良二 (大阪咲洲RC)

活動方針：

今年度は、従来の研究グループ交換委員会(GSE委員会)として、第1890地区ハンブルクチームとのグループ交換を行う。団員数は4名で、団長を含め5名のチーム編成を行い、2013年3月30日から4月30日まで受入を行い、2013年5月21日から6月21日の間、ハンブルクへの送出しを行う。

交換の日数は、従来より5日増えている。その為、特に例年IM7・8組が担当するスケジュールから大きく変更をかけなければならない等、詳細の変更を検討していかなければならない。

もうひとつの課題として、FVPに伴う補助金制度の改革によって、VTTへの移行を検討することが必要である。全体的な予算は次のとおりである。

・派遣に関する費用	980,000円
・受入に関する費用	1,720,000円
・アルムニ その他 会議費	300,000円

そのほか、派遣団員の語学研修費用としてWFへ100,000円程度の補助金申請をしなければならない。

活動計画:

1. 派遣チームに関して

① チーム派遣について

5月末より6月の間に、派遣団員の募集を行っており、応募数が定員オーバーとなることが考えられるので、選考委員会を行わなければならない。選考にあたり、GSE派遣の最終年度であるので、人材優先に基づいて選考を行うのが望ましいと思われる。

② 派遣チームの教育

先行された派遣チームのメンバーは、語学研修のみならず、第2660地区の代表としてそのプレゼンテーションの練習が義務付けされる。よって派遣までの間団長を中心に定期的に集まってそれぞれのプレゼン能力の向上に努め、同時に団長を核としたチームワークを育む努力が必要となる。その際、その先輩格であるアルムニのメンバーに応援を求めることになる。

2. 受入体制

実際の受入体制は、ハンブルクのメンバーが決定し、その性別・職業・年齢等が送付されてきた時点で、各IMごとに4週を1週ずつ受け持ってもらえることになる。その各週ごとの相互のスケジュールの調整、つまり重複スケジュールや希薄な部分の充足などのアドバイスを行うのがGSE委員の役割である。

① IMごとの実行委員会のスケジュール調整、及び内容の説明

② 各IMから提出された週間スケジュールの相互調整

③ 各週ごとの引継ぎの段取りのアドバイス

そして、具体的に受入が始まると

① 歓迎パーティの企画運営

② スケジュールをこなす上で各週ごとの受入団員の体調その他の把握

③ 各週の引継ぎの実施

④ サヨナラパーティのあり方の検討

⑤ 派遣団員の報告会とその記録

などを計画しなければならないと考えている。

3. VTTへの移行の検討

現在、FVPへの移行にあたり、地区財団委員会の中で様々な検討が行われている。今のところ、VTT (Vocational Training Team) に最も近い活動をしているのが、GSE委員会である。しかしながらGSEの持つ技術をある程度使う場面もあるかもしれないが、全く異なった概念であるともいえる。よって、次代を見据えて、その最終的な判断は新委員会に委ねつつ、その可能性を検討していく。

財団法人道的補助金委員会

委員長 吉川 仁育（大阪なにわRC）
 副委員長 樋口 信治（大阪RC）
 鴻池 一季（大阪北RC）
 委員 五味 千秋（大阪心斎橋RC）
 川田 隆（八尾RC）
 和氣 主（大阪北梅田RC）
 紙谷 正行（吹田RC）
 長屋 興（吹田西RC）

活動方針：

1. 高島ガバナーの活動方針鑑みて

RI戦略計画の3つの優先事項を各クラブが実践できるようにお手伝いすることを基本方針とする。

- ①クラブのサポートと強化としては、各クラブが出来るだけ奉仕活動がやりやすいようにお手伝いをする。
- ②人道的奉仕の重点化と増加においては、各クラブが地元や海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクト申請のお手伝いをする。
- ③公共イメージと認知度の向上では、クラブ単位での広報だけでなく、委員会としても、①、②で頑張っている姿勢について広報を心がけて行きたい。〔別項〕

2. FVPへの移行をスムーズに行い得るようにする。

活動計画：

【2012-2013年度活動内容】

上半期(7月～12月)：

従来通りの補助金審査活動を行うと共に各クラブに対しプロジェクトの早期実行を働きかける。

下半期(1月～6月)：

- ①2013-2014年度から導入される新補助金制度の計画年度として各クラブに補助金の内容を積極的に広報し、年度末までに30件強のクラブ事業計画をまとめる。
- ②報告書受付を月単位で管理し、従来よりも報告に要する期間が短くなるよう努め、未報告プロジェクトを発生させない。

●補助金予算…既定のとおり。

〔地区補助金〕

総額 \$56,000 (¥4,480,000)、申請額上限 ¥200,000 / 1プロジェクトあたり、約22件を予定

〔WCS MG〕

総額 \$100,000 (¥8,000,000)、約10件を予定

〔付〕

【2013-2014年度活動内容】

上半期(7月~12月):

- ①前年度に提出した事業計画を時系列で管理し、スムーズな実行を促す。
- ②報告書についても時期・内容を確実にチェックする。
- ③プロジェクト実行状況を検証し、次年度のクラブ事業計画の予定件数を策定し、シェア会議にて報告できるよう資料を作成する。

下半期(1月~6月):

2013-2014年度のクラブ事業計画を上半期の実績を勘案して基準件数を決定し、年度末までにとりまとめる。

●補助金予算

[新地区補助金(人道的分野)]

総額\$160,000 (¥12,480,000)、申請額上限\$5,128 (¥399,984) / 1プロジェクトあたり、約30件

[グローバル補助金(人道的分野)…クラブまたは地区が立案]

総額\$300,000 (¥23,400,000)、約5件

●申請額決定の根拠

[新地区補助金]

- ①補助金の対象となるプロジェクトの範囲が拡大され、単価の上昇が見込まれること、パイロット地区の1年目における1プロジェクトあたり平均資金額が\$3,061(¥238,758)であること、当地区が非常に活発な地区であることを鑑み、申請上限額を算出した。
- ②件数に関しては、例年早期に資金が枯渇してしまう状況であること、新制度では前年度に事業計画を行うために計画→実行が現実的で補助金利用に結びつきやすい点から現在の約25件の2割増とした。

[グローバル補助金…クラブまたは地区が立案]

パイロット地区1年目の実績(平均予算額\$57,631)より算出。

※本予算に関しては、TRF新規DDF配分額が例年とほぼ同額(\$280,000)であること、前年度繰越額が2012-2013年度繰越予定額(\$93,344)であることを前提に算出。
(DDF利用可能総額\$373,344、新地区補助金上限\$186,672)

財団FVP委員会

委員長 宮里 唯子 (茨 木 西RC)
副委員長 四宮 孝郎 (大 阪 西 南RC)
委員 辻川 功一 (大 阪 中 央RC)
川田 隆 (八 尾RC)
山本 博史 (大 阪 南RC)
大野 康裕 (大 阪 北RC)

活動方針：

2013-2014年度実施の財団FVPへ混乱なく移行されるよう準備、FVPがクラブのさらなる活動活性化の契機となるよう「わかりやすい新補助金制度」の策定と導入を目指す。

地 区：財団委員会再編成・(新)地区補助金とグローバル補助金の各財団プログラムへの配分と申請要件/スケジュールの策定

クラブ：新補助金制度の啓発と補助金申請の促進

活動計画：

地区財団FVP委員会：ロータリー財団(財団小委員会含む)委員会として実施し、地区国際奉仕委員会及び地区社会奉仕委員会の委員長あるいはFVP担当委員を迎え、合同委員会として原則毎月開催

財団FVPセミナー：2012年8月25日、10月27日、2013年2月23日(「財団補助金管理セミナー」=「クラブ資格認定プロセス」含む)

米山奨学委員会

委員長 田中 真人(大阪北RC)
 副委員長 西谷 雅之(大阪城南RC)
 吉田 悦治(大阪大淀RC)
 委員 榊原 春枝(大阪柏原RC)
 河内 幸枝(吹田RC)
 福田 治夫(守口イブニングRC)
 近藤 菜穂子(大阪ネクストRC)
 田中 隆弥(池田くれはRC)
 島井 宏子(大阪北梅田RC)
 樋口 一夫(大阪船場RC)
 古城 紀雄(千里RC)

活動方針:

本年度は、第2660地区に於ける“米山奨学事業のファン作り”をメインテーマに活動を推進してまいります。地区内クラブの米山奨学活動を支援することにより、1人でも多くの方に米山奨学事業をより深く理解し、またロータリアンと奨学生の記憶に残る良好な信頼関係を築いていけるようサポートし、寄付の増進に繋げられる活動を推進する。

活動計画:

月・日(曜日)	時間	場所	行事名
4月12日(木)	16:30~20:00	ヴィアーレ大阪	新規採用奨学生オリエンテーション (新規奨学生35名参加)
6月1日(金)	16:30~18:00	ガバナー事務所	新委員オリエンテーション 新旧合同委員会
7月15日(日)	15:30~18:30	リーガロイヤルホテル	学友会総会
7月23日(月)	15:00~17:00	ガバナー事務所	大学との会合
7月28日(土)	14:00~16:00	薬業年金会館	クラブ米山委員長カウンセラー研修会
10月14日(日)	10:00~18:00	宝塚劇場	リクレーション(宝塚歌劇)
11月17日(土)	14:00~17:00	大阪科学技術センター	米山ふれあいスピーチコンテスト
1月20日(日)	9:30~15:00	大阪日本語教育センター	2013学年度採用面接試験
2月24日(日)	17:00~19:30	ハイアット リージェンシー大阪	米山奨学生歓送会

地区大会実行委員会

委員長 北村 讓 (大阪中之島RC)
副委員長 石田 道夫 (大阪天満橋RC)
 中村 匡克 (大阪大手前RC)
幹事 岡本 啓吾 (大阪中之島RC)

2012-2013年度の地区大会は12月7日(金)・8日(土)の2日間、

『健全な心と体の育成を ～地球の平和のために～』

をコンセプトに地区大会を実施させていただきます。

近年、若者を取り巻く社会環境の変化により、青少年の薬物乱用、喫煙や飲酒の低年齢化に加え、性の逸脱による性感染症の増加、「きれい」という学校での異常な行動、そして学級崩壊などの様々なことが社会問題になってきております。

これらの問題は、私たちの遠くで起こっている問題ではありません。

ロータリーの事業のひとつである「若い未来の指導者育成」を「強い心、健全な体を持った若い未来の指導者」として考えることが肝要だと思われまます。

そこで、「こころ」「からだ」をベースにして本地区大会では考えていきたいと思ひます。

地区大会は「ネットワークを広げ、感銘深い講演を聴き、ロータリーのさまざまな話題について話し合う」ことを目的としております。

ロータリアンにとって有意義な2日間を過ごしていただけるように、鋭意準備をすすめております。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

大会日程：

第1日目 2012年12月7日(金)

13:00～14:30 「開会式」
大阪国際会議場 メインホール

15:00～16:45頃 「分科会I 会長・幹事部門」
「分科会II 新世代部門」
「分科会III 米山奨学・R財団部門」
「分科会IV 新入会員部門」
大阪国際会議場 会議室

15:00～16:40 「家族の集い」
リーガロイヤルホテル ダイアモンドルーム

17:45～20:30頃 「RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会」
リーガロイヤルホテル 光琳の間

第2日目 2012年12月8日(土)

13:00～17:00頃 「本会議」
大阪国際会議場 メインホール

また2日間、大阪国際会議場5階ホワイエにて「友愛の広場」を展開します。

ロータリーの友

地区代表委員 福田 忠博（大阪中之島RC）

活動方針：

- ①ロータリーの友委員会の審議事項及び「一般社団法人ロータリーの友事務所」理事会に関する情報をガバナーと共有し、ガバナーの意向を踏まえて委員会において提言をする。
- ②地区内会員への「ロータリーの友」誌の広報。
- ③地区内のロータリー活動の情報収集。

活動計画：

- ①委員会に皆出席する。
- ②ロータリー活動に関する情報の編集部への提供。
- ③「ロータリーの友」誌の活用・促進活動に努める。

地区財務委員会

委員長 嶽下 勇治（大阪中之島RC）
委員 梅崎 道夫（大阪城南RC）
片岡 基博（八尾中央RC）
会計 松任 保勇（大阪中之島RC）

活動方針:

1.地区会計の内容

地区会計は、以下のとおり一般会計・特別会計・地区基金・地区大会会計・地区協議会会計に大別されます。

- (1)一般会計
 - ①地区運営資金
 - ②地区活動資金
- (2)特別会計
 - ①地区大会資金
 - ②米山奨学生活動費
 - ③国際奉仕基金
 - ④RI規定審議会派遣積立金
 - ⑤ロータリー研究会準備基金
 - ⑥危機管理積立金
- (3)地区基金
- (4)地区大会会計
- (5)地区協議会会計

- (1)一般会計は、「地区運営資金」と「地区活動資金」から構成されます。「地区運営資金」は、地区主催の各種会合費やガバナー事務所諸経費・ガバナー月信発行費等が主たる資金使途となります。「地区活動資金」は、主として地区に属する各種委員会の活動費です。
- (2)特別会計は、一般会計から独立した部門として管理されております。
- (3)地区基金は、以前から第2660地区の基金としてプールされている資金です。本年度は、地区財政基盤の安定確保のため、地区運営資金から地区基金に500万円を繰入れし、前年度からの繰入金1,500万円に加えた2,000万円を積み立てることにしました。
- (4)地区大会会計及び(5)地区協議会会計は、これまで同様、独立した会計部門として管理し、最終的にそれぞれ監査を受けるものとします。

2.基本方針

- (1)会員一人あたりの負担金は変更しません。
- (2)「地区運営資金」は、そのほとんどが固定的経費にありますので、ほぼ前年並みとしました。
- (3)「地区活動資金」は、前年に引き続き緊縮予算を踏襲します。

3. 予算編成

(1)「地区運営資金」は、地区委員長から事業計画、希望予算額をご提示いただき、ヒアリングと意見交換、そして、過去の実績等を勘案したうえ、予算を確定しました。

(2)「地区活動資金」の主な項目

- ①クラブ奉仕部門の広報委員会予算は、621万円から66万円と減少していますが、これは前年度計上しましたポリオ広報活動協力金が今年度はなくなったためです。
- ②新世代奉仕部門の青少年活動委員会予算は、550万円から450万円と減少していますが、これは今年度から秋のライラが上級のみになったためです。
- ③今年度から新しく立ち上げた委員会に対する予算措置として、ロータリー財団部門の財団FVP委員会と災害支援プロジェクトにそれぞれ20万円と10万円の予算を計上しました。
- ④地区活動における緊急事態に対応するため、地区活動資金から特別会計の危機管理積立金に950万円を積立てることにしました。
- ⑤地区活動資金のRI会長DG協調事業費として300万円を計上し、広報活動及び広島で開催されます平和フォーラムへの参加支援に充当することとしました。

(3)次年度繰越金

①地区運営資金

次年度繰越金は、前年度繰越金24,636,746円に収支差額△8,140,000円を控除した金額16,496,746円となります。

前年度繰越金の算定は、前々年度繰越金26,706,746円に前年度予算の収支差額△2,070,000円を控除した金額24,636,746円として算定しました。

②地区活動資金

地区運営資金と同様、前年度繰越金に収支差額を控除した金額11,275,967円を次年度繰越金としました。

また、前年度繰越金の算定につきましても、地区運営資金同様に前々年度繰越金に前年度予算の収支差額を減額した金額27,760,967円としました。

以上の方針に基づき、地区会計の予算執行を適宜把握し、健全性及び透明性の実現に努めます。

地区資金・特別会計・地区基金会計予算

地区運営資金

【収入の部】	科 目	11-12予算	12-13予算	増 減	(単位:円)
	1 地区資金	37,000,000	36,000,000	△1,000,000	
	2 RI助成金	2,000,000	2,000,000	0	
	3 雑収入	600,000	600,000	0	
	収入合計	39,600,000	38,600,000	△1,000,000	

【支出の部】	科 目	11-12予算	12-13予算	増 減	(単位:円)
A	負担金				
	1 ガバナー会	800,000	800,000	0	
	2 ロータリー文庫	1,200,000	1,200,000	0	
	3 平和奨学生支援協力金	60,000	60,000	0	
	小 計	2,060,000	2,060,000	0	
B	会議費				
	1 PETS・地区チーム研修セミナー	1,500,000	1,500,000	0	
	2 合同地区委員会	900,000	900,000	0	
	3 財団セミナー	600,000	600,000	0	
	4 DGPGE会議	200,000	0	△200,000	
	5 G補佐・地区幹事会	30,000	30,000	0	
	6 GE国際協議会	730,000	730,000	0	
	7 予備費	100,000	100,000	0	
	小 計	4,060,000	3,860,000	△200,000	
C	ガバナー関係費				
	1 ガバナー事務所経費	29,930,000	30,200,000	270,000	
	2 ガバナー月信費	5,300,000	5,300,000	0	
	3 ガバナー補佐経費	100,000	100,000	0	
	4 直前DG記念品	100,000	100,000	0	
	小 計	35,430,000	35,700,000	270,000	
D	地区基金への繰入金		5,000,000	5,000,000	
E	総予備費	120,000	120,000	0	
	支出合計	41,670,000	46,740,000	5,070,000	
	収支差額	△2,070,000	△8,140,000	△6,070,000	
	前年度繰越金	3,672,588	24,636,746	20,964,158	
	次年度繰越金	1,602,588	16,496,746	14,894,158	

ガバナー事務所経費

	科 目	11-12予算	12-13予算	増 減	(単位:円)
	1 家賃・光熱費	4,400,000	4,500,000	100,000	
	2 給料・手当	16,530,000	16,700,000	170,000	
	3 厚生費	2,300,000	2,300,000	0	
	4 コンピューター関係費用	1,300,000	1,300,000	0	
	5 DGGE交通会合費	900,000	1,000,000	100,000	
	6 印刷費	1,400,000	1,400,000	0	
	7 交通通信費	1,500,000	1,500,000	0	
	8 文献費	50,000	100,000	50,000	
	9 事務用品費	600,000	600,000	0	
	10 什器備品費	150,000	200,000	50,000	
	11 雑費	500,000	500,000	0	
	12 予備費	300,000	100,000	△200,000	
	合 計	29,930,000	30,200,000	270,000	

地区活動資金

【収入の部】	科 目	11-12予算	12-13予算	増 減	(単位:円)
	1 地区資金	25,900,000	25,200,000	△700,000	
	2 ポリオ広報活動協力金	5,550,000	0	△5,550,000	
	収入合計	31,450,000	25,200,000	△6,250,000	

【支出の部】	科 目	11-12予算	12-13予算	増 減	(単位:円)
A	地区委員会活動費				
	1 DG指名(委)	30,000	30,000	0	
	2 意義ある業績賞(委)	20,000	20,000	0	
	3 クラブ奉仕部門				
	①クラブ奉仕拡大増強(委)	480,000	480,000	0	
	②広報(委)	6,210,000	660,000	△5,550,000	
	4 職業奉仕部門				
	職業奉仕(委)	250,000	240,000	△10,000	
	5 社会奉仕部門				
	社会奉仕(委)	450,000	430,000	△20,000	
	6 新世代奉仕部門				
	①新世代合同委員長会議	32,000	30,000	△2,000	
	②青少年活動(委)	5,500,000	4,500,000	△1,000,000	
	③ローターアクト(委)	4,700,000	4,500,000	△200,000	
	④青少年交換(委)	5,650,000	5,500,000	△150,000	
	⑤インターアクト(委)	2,000,000	1,950,000	△50,000	
	7 国際奉仕部門				
	国際奉仕(委)	320,000	310,000	△10,000	
	8 ローターリー財団部門				
	①ローターリー財団(委)	300,000	290,000	△10,000	
	②財団FVP(委)		200,000	200,000	
	③財団情報・増進・ポリオプラス(委)	30,000	30,000	0	
	④財団奨学金・学友(委)	650,000	630,000	△20,000	
	⑤研究グループ交換(委)	2,700,000	3,000,000	300,000	
	⑥財団人道的補助金(委)	45,000	45,000	0	
	9 米山奨学部門				
	米山奨学(委)	350,000	340,000	△10,000	
	10 災害支援プロジェクト		100,000	100,000	
	11 RI規定審議会派遣積立金	200,000	400,000	200,000	
	12 RIJYEC維持協力金	400,000	400,000	0	
	13 危機管理積立金	500,000	9,500,000	9,000,000	
	14 予備費	2,000,000	1,500,000	△500,000	
	小 計	32,817,000	35,085,000	2,268,000	
B	RI会長DG協調事業費	0	3,000,000	3,000,000	
C	IM広報活動補助金	2,400,000	2,400,000	0	
D	研修委員会	200,000	1,200,000	1,000,000	
E	ローターリー研究会準備基金	0	0	0	
	支出合計	35,417,000	41,685,000	6,268,000	
	収支差額	△3,967,000	△16,485,000	△12,518,000	
	前年度繰越金	13,303,410	27,760,967	14,457,557	
	次年度繰越金	9,336,410	11,275,967	1,939,557	

特別会計

1. 地区大会資金

科 目	11-12予算	12-13予算	増 減	(単位:円)
前年度繰越金	7,905,257	9,245,981	1,340,724	
地区資金	18,500,000	18,000,000	△500,000	
地区大会会計へ	18,500,000	27,245,981	8,745,981	
地区大会会計から戻入	0	9,245,981	9,245,981	
次年度繰越金	7,905,257	9,245,981	1,340,724	

2. 米山奨学生活動費【収入の部】

科 目	11-12予算	12-13予算	増 減	(単位:円)
(財)米山記念奨学会より	2,700,000	2,700,000	0	
選考試験補助金	0	0	0	
カウンセラー研修会補助金	0	0	0	
ホームカミング補助費	0	0	0	
レクリエーション登録費	0	0	0	
米山奨学歓送迎会登録料	0	0	0	
受取利息	0	0	0	
収入合計	2,700,000	2,700,000	0	

【支出の部】

科 目	11-12予算	12-13予算	増 減	(単位:円)
米山活動費				
カウンセラー研修会	0	0	0	
情報交換会	0	0	0	
レクリエーション	2,700,000	2,700,000	0	
選考会	0	0	0	
歓送迎会	0	0	0	
オリエンテーション	0	0	0	
ホームカミング	0	0	0	
米山奨学会学友会支援	0	0	0	
米山委員長会議	0	0	0	
(財)米山記念奨学会へ返金	0	0	0	
支出合計	2,700,000	2,700,000	0	

3. 国際奉仕基金

【収入の部】

科 目	11-12予算	12-13予算	増 減	(単位:円)
クラブ拠出金	0	0	0	
受取利息	0	0	0	
収入合計	0	0	0	

【支出の部】

科 目	11-12予算	12-13予算	増 減	(単位:円)
プロジェクト資金	0	0	0	
送金手数料	0	0	0	
支出合計	0	0	0	
収支差額	0	0	0	
前年度繰越金	2,144,659	1,773,151	△371,508	
次年度繰越金	2,144,659	1,773,151	△371,508	

4. RI規定審議会派遣積立金

科 目	11-12予算	12-13予算	増 減	(単位:円)
前年度繰越金	1,054,400	1,254,400	200,000	
地区活動資金繰入	200,000	400,000	200,000	
実際派遣事業	0	1,000,000	1,000,000	
次年度繰越金	1,254,400	654,400	△600,000	

5. ローターリー研究会準備基金

科 目	11-12予算	12-13予算	増 減	(単位:円)
前年度繰越金	6,000,000	0	△6,000,000	
地区基金繰入	0	0	0	
研究会会計へ	6,000,000	0	△6,000,000	
次年度繰越金	0	0	0	

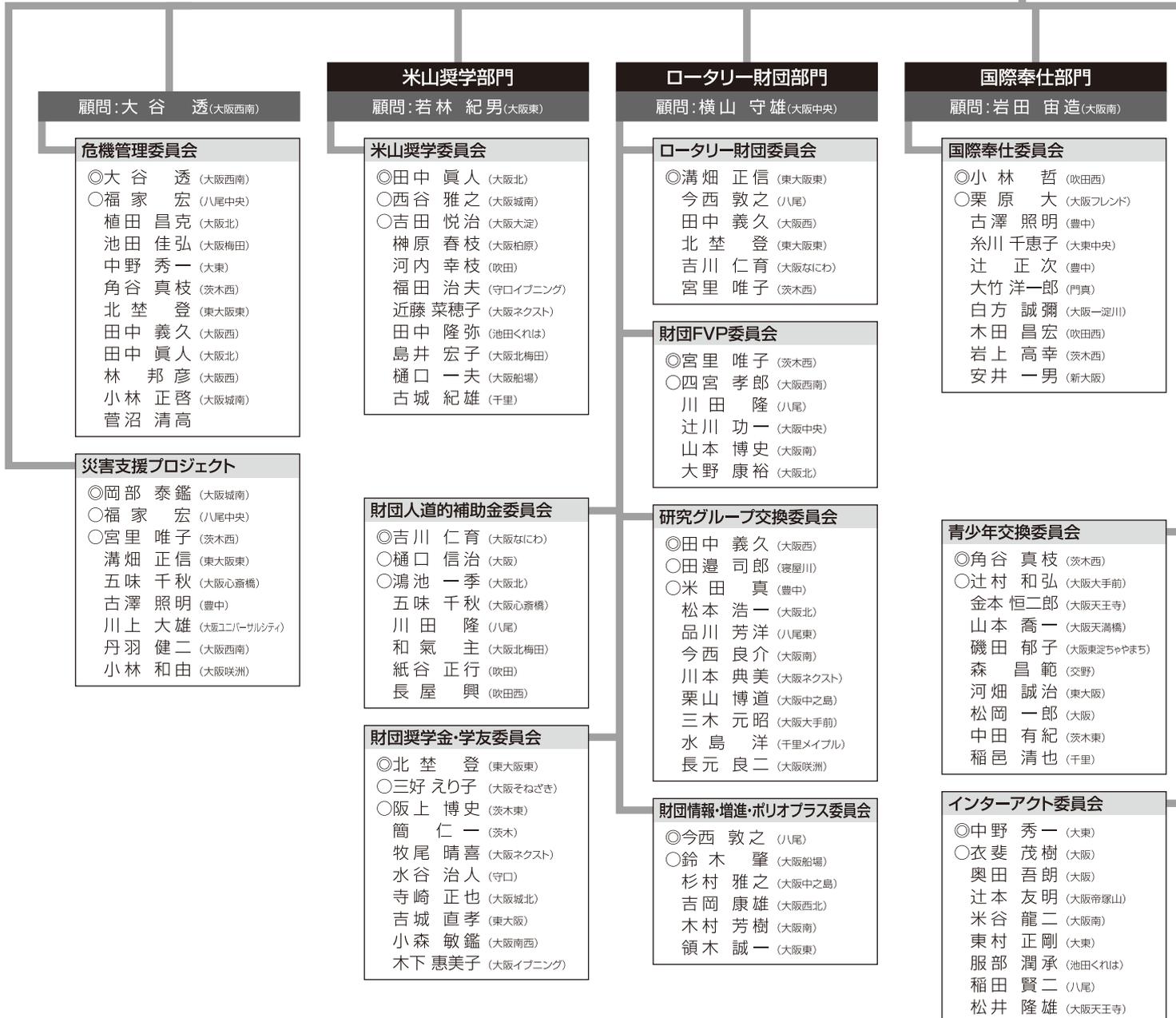
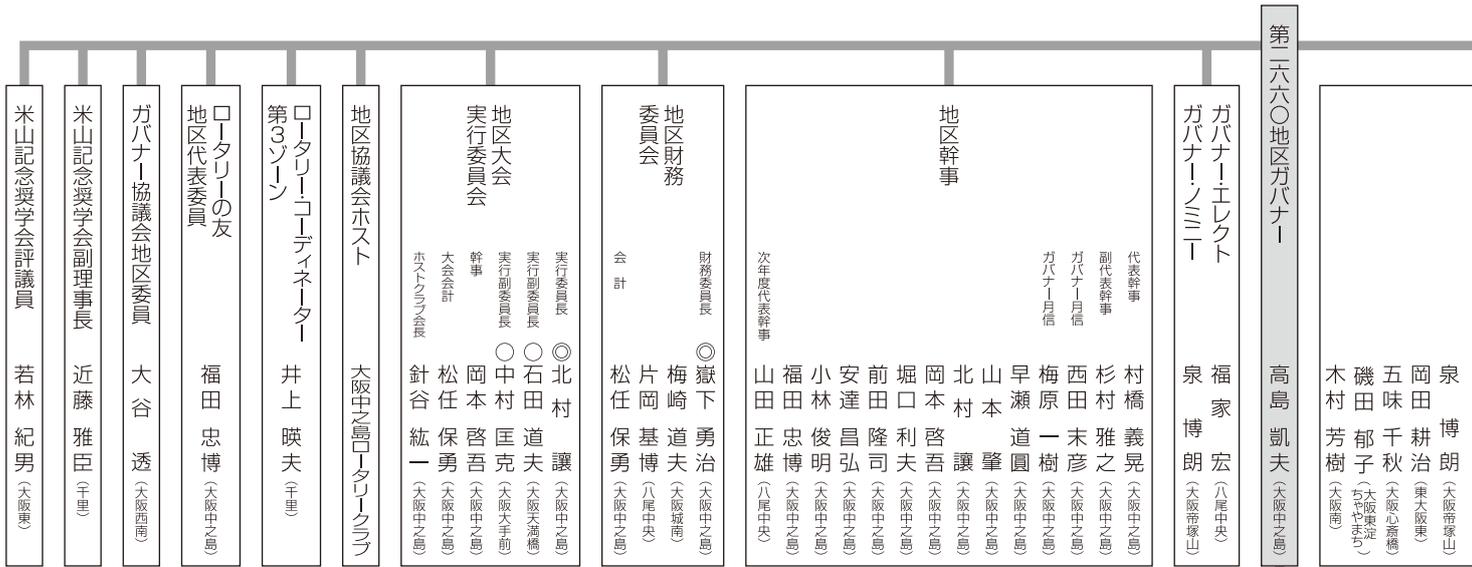
6. 危機管理積立金

科 目	11-12予算	12-13予算	増 減	(単位:円)
前年度繰越金	500,000	500,000	0	
地区活動資金繰入	500,000	9,500,000	9,000,000	
次年度繰越金	1,000,000	10,000,000	9,000,000	

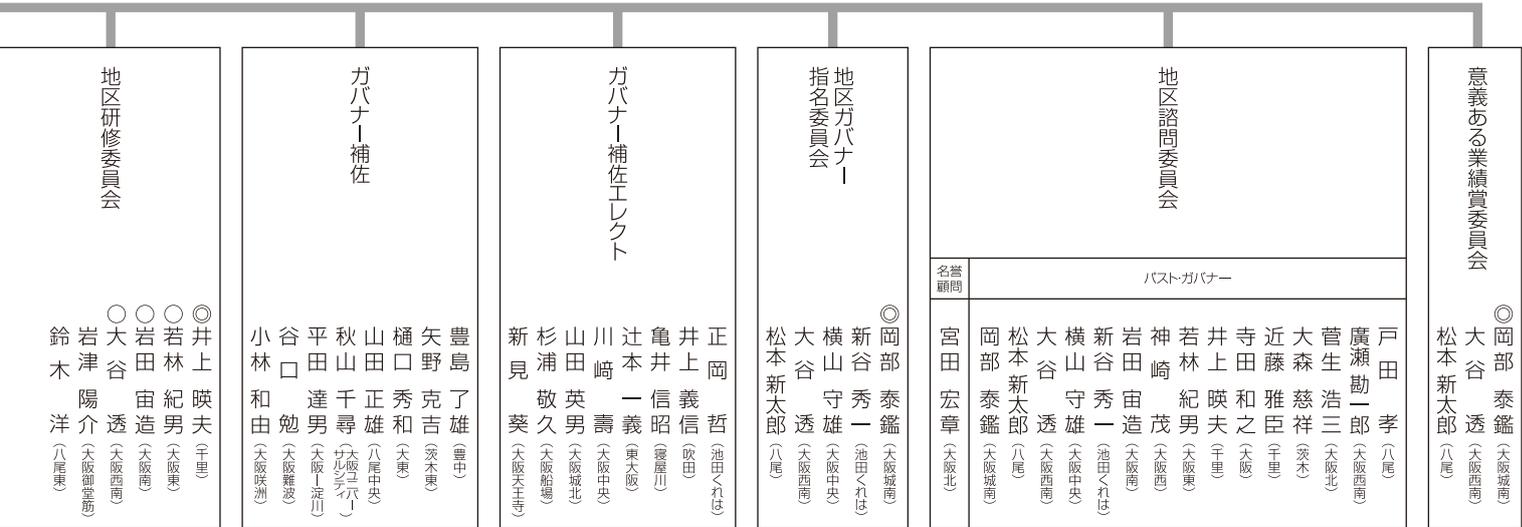
地区基金

科 目	11-12予算	12-13予算	増 減	(単位:円)
前年度繰越金	15,000,000	15,000,000	0	
受取利息	0	0	0	
特別会計へ取崩	0	0	0	
地区運営資金から組入	0	5,000,000	5,000,000	
利息を本会計へ繰入	0	0	0	
次年度繰越金	15,000,000	20,000,000	5,000,000	

2012-2013年度 国際ロータリー第2660地区 組織図



国際ロータリー	会長	田中 作次
	会長エレクト	ロン D. パートン
	理事	松宮 剛



◎：委員長もしくはリーダー
○：副委員長もしくはサブリーダー
※新世代合同委員長会議においては◎：議長



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660